

7月15日学苑会議にて新執行部選出について事態を
改めさせ連協の意志の行動に付して該
別の意を三に表明するものである。

二水系からくる活動を通じて叫ばれ構成

されたはゆるボクサム自治会解体という
念を彼等は「とても簡単くつがえし、
これからを欺瞞」と、学苑会堅持といふ
想をとったことは、彼等自身に内在する
と二三の議論中で宣傳主義を暴露した
ことであり、これが彼等の目で看日本賀
主義的全共斗運動創出の第一歩となり
受け取らざる合意。

彼等は前段として右の二部学生に學苑会
に対する幻想をいたかさせたのみなら
ず、学苑会即ち上からの命廢れるとし
て内ソシセクト集約という形でしか企
划運動再編強化をなしらず、結局の
所、明大二部における個別的不満解消
という医者の改良主義に陥るとして
学苑会への学生甲斐を見出さずだう。
それが彼等がこのソフトだがらである。

彼等のよくて学生以上にあって解放
しきりとしても決して成功することは
ない、試案にそれと希望しても、
学生の眞の解放は彼ら自身の行動
によるしか、そして彼らの上にではなく
左の中において指導する者によって支
配されるのでほんく振りをもと
自らの管理と具体的行動とで交
えたれた彼ら自身の階級的組織

7.15 学生会
会員会

手中にか実現されまいとリカニと
を新執行部諸君は肝に命じ
ておくべきである。

擬制の止揚を擬制内にありて
内部的に志向した所の小島

一派の存在そのものを我々
は擬制として止揚するであ
らう。

我々は今、彼らに葬送の
歌を送らねばならぬ！

我々は連協は二水系の方針
を堅持し、また一層徹底を
追求する内より新たなる
質を得るだろう。

その新しい質こそ彼らの
葬送の歌となるであらう。

・安保粉碎！
・日帝打仆！
・学館実力解放！



70.7.21

サークル連合協
議会